



かがやき

西橋北小学校
学校だより
No.3
平成23年4月22日

春の陽射しと共に

(文責：後藤 達人)

やっと暖かさを実感できるようになってきました。桜の花も今年は長く楽しむことができました。校庭の花壇やプランターも季節の花が咲き誇り、子どもたちをやさしく出迎えてくれています。



昨年秋に自分たちでも植えたチューリップの花が、きれいに咲いてきました。また、パンジーやビオラ、ノースポールなどの春定番の花たちも、しっかりと世話をしてもらったおかげで、こうしてきれいに咲くことが

できたのです。美しさを目で感じるとともに、世話をしている人にも目が向き、その人の思いが感じられるとすばらしいですね。

豊かな感性、豊かな人間性を育むことは、今の時代に強く求められていることです。自分の身の周りで、季節感を感じたり、美しいものに感動したり、いろいろな人とかかわったりしながら、感性を高めていく体験を多く積んでほしいと思います。

4月初めの子どもたちの様子

平成23年度の1学期が、滑らかにスタートしました。どの教室を見て回っても、子どもたちは、しっかりと話を聞き、自分の思いを発表し、友だちの意見を受け止め、新学期の目標や約束事をつくり上げていました。



今年度、教員の校内研修での取り組みのひとつに、授業規律の確立を取り上げました。基礎的な学力の定着に向け、まず仕上げていくべきこととして、その必要性を感じます。具体的には、「チャイムを守る」「勉強道具の準備」「聞き方・話し方」「ノートを取り方」などですが、最終的には、学習に対する意欲の向上を目指すものです。

落ち着いた雰囲気の中で、学習に対する意欲が強く感じられる活動が展開できるよう、教職員一同、目標を共有し、共通理解の下、子どもたちへの指導を推進していきたいと思っています。

また同時に、学力の定着のためには、「家庭学習の習慣化」が必要です。家庭と学校が協働することで、よりよい学習習慣を作り上げていきましょう。



楽しい給食

4月8日（金）から給食が始まりました。2年生以上の子どもたちは、慣れ親しんだ給食ですが、1年生にとっては、新たな体験となります。

初日は、担任の先生から給食の約束などを聞き、一通り学習をしてから準備に入りました。身支度を整えたり、きれいに手を洗ったりして、給食に備えます。みんなとても上手に、教えられたことを実行し、給食にありつくことができましたようです。



たくさんの友だちと一緒に、楽しく給食を食べることができ、みんな幸せそうでした。「おいしい。」という声が、あちらこちらで聞かれ、うれしくなりました。

後片付けも自分たちでします。特に、牛乳パックを開くのが大変かなと思っていたのですが、予想に反して、てきぱきと進めていくことができ、「すごいな。」と思わず声をかけました。

食育の推進が、四日市市の教育ビジョンにも取り上げられています。西橋北小学校でも、さまざまな機会を捉え、食育の充実を図りたいと考えています。生活リズムの向上とも関わる大切な取り組みですので、確実に推進していきたいと考えています。



避難訓練を実施して

4月11日（月）に避難訓練を実施しました。当初は、火災のみの想定でしたが、東日本大震災の後ですので、「地震+火災」に急きょ変更して行いました。

緊急放送を聞いて、机の下にもぐったり、校舎外の避難場所に学級ごとに移動してきてたりして訓練が進んでいきました。

初めて西橋北小学校の避難訓練の様子を見て、課題がないわけではありませんが、おおむね子どもたちの避難行動は良好でした。

しかし、私は、子どもたちにあえて合格点を与えませんでした。避難完了時間も少なく、みんなきちんと並んで出てきました。やる



ことはきちんとやっているといった感じですが、でも、訓練はそんなものではないと思います。何のために、大切な時間を使ってまでも、毎年何回も行っているのか。真剣に考えてほしかったのです。

おしゃべりをしたり、友だちとふざけ合いながら参加したり、人の後をついてくるだけだったり、およそ訓練とは思えないような出来事もありました。

でも、ほとんどの子どもたちは、一生懸命取り組もうとしていきます。一人ひとりの取り組みがつながり、共通に意識を持つことができたとき、西橋北小学校の避難訓練が完成するのです。

